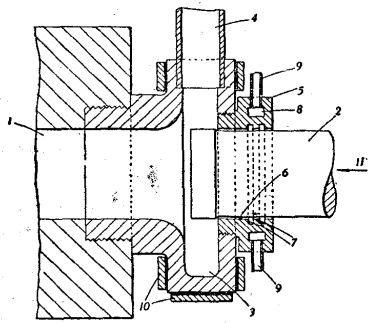


特許出願公告及特許拔萃

特許公告拔萃

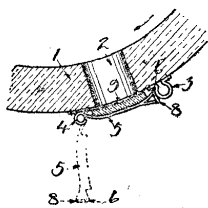
金屬壓出裝置の改良 (昭和 14 年特許出願公告第 5538 號, 昭 14-11-2, 英國ダブリュー、テイー、グロバアー、エンド、コムパニー、リミテッド) 本發明は圖示する如き熔融金屬を充填する目的にて密閉供給器を外端に有する圓筒形容器と充分な間隙と存して



供給器の密閉壁の孔を貫通し容器の外端より進入し容器に對して移動する事を得又容器内端より可塑性金屬を排出する唧子と孔の表面上に構成せられ唧子を全く圍繞する一乃至數個の深溝と供給器より唧子及孔面間に進入する金屬を溝中及其附近にて冷却及凝固せしむる

目的にて孔周圍の金屬を冷却し之により供給器より熔融金屬の脱出を防止する密閉部を構成する装置とを備へた金屬壓出機に係る。

回轉管狀爐に於ける湯出口開閉裝置 (昭和 14 年特許出願公告第 5541 號, 公告昭 14-11-2, 東京, 日本特殊鋼管株式會社) 本發明は圖示せる如く回轉管狀爐に於ける湯出口に小形の蝶形蓋板を蝶着し之を爐體の回轉に伴れて自動的に開閉せしむる如くなした湯出口の開閉裝置に係るもので爐體の回轉中湯出の再開始に至る迄湯出口に蓋板を密着せしめて熱の放出を防ぎ湯出を容易ならしめたものである。



貧鐵鑛石の粒化選鑛法 (昭和 14 年特許出願公告第 5542 號, 公告昭 14-11-2, 關東州, 南滿洲鐵道株式會社) 本發明は含鐵鑛物が多量の石英質脈石中に極めて細微な粒狀組織を呈して存在し其の組成は菱鐵鑛, 褐鐵鑛, 赤鐵鑛, 磁鐵鑛或は之等の混合より成れる貧鐵鑛を微細に粉細し少量の水の存在の下に炭化水素油脂肪樹脂タール質その他之と類似の油質又は前記油質に其の作用を促進する試薬を單獨或は珪酸質脈石の親水性を増加する試薬と共に添加して粒化選鑛を行ふ方法である。

濕式磁力選鑛法の改良 (昭和 14 年特許出願公告第 5543 號, 公告昭 14-11-2, 關東州, 南滿洲鐵道株式會社) 本發明は磁鐵鑛, 亞鉛鐵鑛, チタン鐵鑛, 磁硫鐵鑛其他磁性鑛物を含有する鑛石或は鐵其他磁性物質を含有する物質を粉碎し水を加へて鑛液となし之を濕式磁選別するに當り鑛液中に極少量のオイレン酸, ザンセート, コールタール, 其他類似の浮游選鑛用捕集劑を單獨或は珪酸曹達炭酸曹達其他類似の浮游選鑛用調節劑と共に添加して磁力選別する方法で磁性物質の疏水性を増加すると同時に不純物の親水性を増加し有効に選別し得るものである。

鐵鑛石の特殊浮游選鑛法 (昭和 14 年特許出願公告第 5544 號, 公告昭 14-11-2, 關東州, 南滿洲鐵道株式會社) 本發明は鐵鑛石を粉碎し得たる鑛液に鐵鑛石に對して特に強力なる氣泡捕集の作用を有する浮選劑として低温タール中 210~270°C に餾出する分餾油を使用し且ミネラルセパレーション型浮選機のインペラの回轉速

度を極度に減し鐵鑛石の浮游選別を行ふ方法で極めて容易且確實に鐵含有分と脈石とを分離し得る特徴を有するものである。

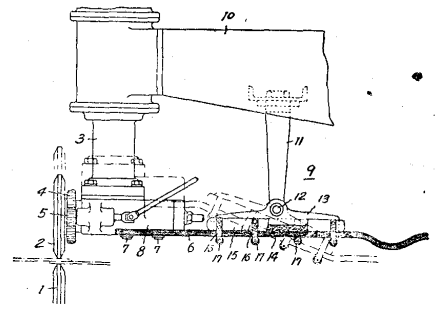
砂泥による水成重懸濁液を使用する選炭法 (昭和 14 年特許出願公告第 5545 號, 公告昭 14-11-2, 滿洲國, 大澤廣三郎) 本發明は微細なる土壤より蒐集せる砂泥と水との適當なる割合を以て調製した比重 1.35~1.65 内外の粘土低く且安定な水成懸濁液を使用する選炭法に係る。

鐵鑛石の還元方法 (昭和 14 年特許出願公告第 5546 號, 公告昭 14-11-2, 東京, 日本特殊鋼管株式會社) 本發明は鐵鑛石を回轉管狀爐により還元し熔融鐵を得る方法に於て鐵石に還元劑及少量の石灰石を混合せるものを爐の一端より装入し造滓成分たる石灰を還元層と熔融層との中間に於て爐内に装入する方法で鑛石と還元劑との接觸を充分ならしめて還元を充分ならしめ且爐の操業を容易ならしめたものである。

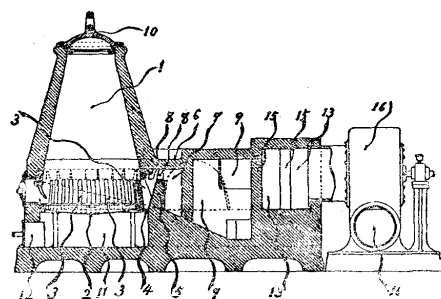
錫鑛の低温製煉法 (昭和 14 年特許出願公告第 5547 號, 公告昭 14-11-2, 戶崎市, 嘉村平八) 本發明は酸化錫を含む低品位の錫鑛又は焙燒錫鑛を還元性ガスにより低温還元をなし錫を金屬狀態となし次に之に適當の溶劑を加へ熔解して硬錫となし精煉して精製錫となす錫鑛の製煉法に係るものである。

活字合金鑄滓より完全に地立を回收する方法 (昭和 14 年特許出願公告第 5548 號, 公告昭 14-11-2, 仙臺市, 金屬材料研究所長) 本發明は活字合金鑄滓を木炭 5~10% 及アルカリ鹽類 1~10% を含有する苛性曹達又は苛性加里の熔融物を以て處理する方法に係るものである。

綜合熔接機 (昭和 14 年特許出願公告第 5595 號, 公告昭 14-11-2, 東京, 三菱電機株式會社) 本發明は圖示せる如く對應せる電極に向て移動し得べく支持せられた電極轉子該電極轉子への導電體を備へ前記導電體は電極轉子の移動時に於てのみ其の移動を許容せらるゝ様導電支持裝置により靜止部に支持せしめた熔接機に係るものである。



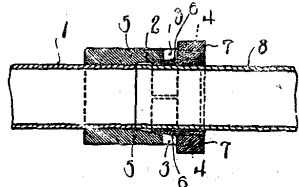
貯炭式完全燃燒爐 (昭和 14 年特許出願公告第 5601 號, 公告昭 14-11-10, 函館市, 小倉善平) 本發明は圖示せる如く上方に石炭投入口を有し之に蓋を施した貯炭室の下底部に火格を置き其の下方



を空室となし之に空氣導入口を設け貯炭室の下方に位する周壁の大部分に多數の火焰通過口を開口せしめ之を繞て中間壁と外壁との間に燃燒ガスの通路を形成し燃燒ガスの通路と中間壁の内とは多數の通孔にて連通させ燃燒ガスの通路の一部分に流出口を設け且火格の外周を繞り給氣口を設け以

て空室より中間壁の内部に空気を供給する様構成した貯炭式安全燃焼爐に係るものである。

管端の接合装置 (昭和14年特許出願公告第5602號, 公告昭14-11-10, 西宮市, ワーネル, ベルヒ) 本發明は圖示せる如く接合



せんとする同一徑の二個の管の一方の管端外周に内面を圓錐形となし其の一部に楔溝を設けた雌形フランジを設け而して他方の管端外周に前記の雌形フランジに密嵌する圓錐面を有すると共に雌形フランジの楔溝に密嵌すべき楔を設けた接合環 擲動自在に設けた管端

の接合装置に係るものである。

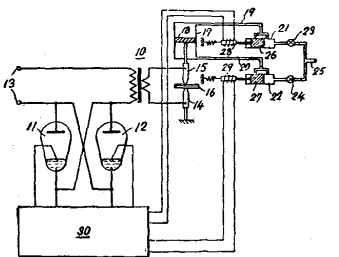
磷酸鐵礬土礦の處理法 (昭和14年特許出願公告第5621號, 公告昭14-11-10, 大阪市, 株式會社齋藤硫礬製造所) 本發明は磷酸鐵礬土礦をアルカリ土金屬の鹽化物例へば鹽化石灰と混合し加熱しつづ之に鹽素ガスを通じ礬石中の鐵分を除去する方法である。

アルミニウム又は合金表面に酸化皮膜を形成する方法 (昭和14年特許出願公告第5626號, 公告昭14-11-10, 大阪市, 鶴田將) 本發明は硫酸の水溶液中に尿素を添加した溶液中にアルミニウム又は其の合金を浸漬して之に電流を通じ酸化皮膜を形成する方法であり操作温度比較的高きも皮膜生成を有効に行ひ得て單に硫酸水溶液を電解液とする同温度のものに比して比較的防蝕力及硬度の大きな皮膜が得られる特徴を有するものである。

砒化ニッケル鑛よりニッケルスパイスを製造する方法 (昭和14年特許出願公告第5628號, 公告昭14-11-10, 東京, 古河電氣工業株式會社) 本發明は砒化ニッケル鑛100部と酸化焙燒した砒化ニッケル鑛50~200部とを混合し所要量の珪酸を添加して熔融してニッケルスパイスを製造する方法で簡単な操作により鐵含量の少ないスパイスを得られる特徴を有するものである。

多孔質減磨金屬體の製造方法 (昭和14年特許出願公告第5629號, 公告昭14-11-10, 東京, 東海電極製造株式會社) 本發明は一種又は二種以上の金屬の粉粒に輕油を混じたものと黒鉛の如き非金屬物質の粉粒にピッチ及タールを加熱したものとの混合物を加壓成形し熱處理を施し燒結せしめた後高温度より一定温度の油槽内に投入するか或は眞空中で加熱せる油槽中に浸漬することにより潤滑油を含浸せしめて多孔質の減磨金屬體を製造する方法である。

熔接装置 (昭和14年特許出願公告第5668號, 公告昭14-11-10, 東京, 三菱電機株式會社) 本發明は圖示せる如く熔接電流を直接又は間接に制御すべき放電装置, 熔接電極に壓力を附與する唧子装置及熔接電流と電極加壓の時間的制御装置を備へ放電装置による熔接電流の通流に先立ち電極を加壓した後一旦減壓して其の間中のみ電流を通し電流遮斷後再び

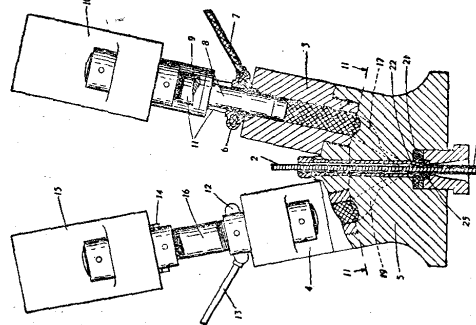


加壓せしむる様構成した熔接装置に係るもので熔接強度均一にして大なる熔接を爲し得る特徴を有するものである。

銅とアルミニウムとの接合方法 (昭和14年特許出願公告第5669號, 公告昭14-11-10, 東京, 株式會社日立製作所) 本發明は銅線又は板とアルミニウム線又は板との接合部に鉛又は鉛を主成分とする低熔融點の合金の薄層を介在せしめて電氣抵抗熔接法によ

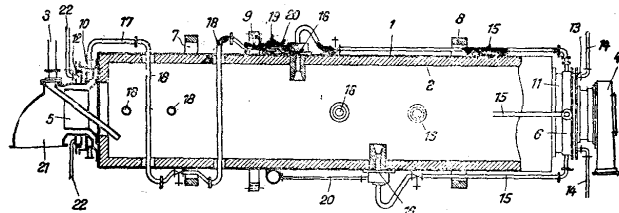
り接合せしむる方法である。

金屬壓出機 (昭和14年特許出願公告第5685號, 公告昭14-11-15, 英國, ダブリュット, ティー, グロバアー, エンド, コムパニー, リミテッド) 本發明は圖示せる如く二個乃至數個の容器より順次に時間を距てて一共通壓出室へ可塑性金屬を壓出し本機より連続製品を製造する事を得二容器の排出端より壓出室へ達する通路は可塑性金屬の流れの合一



する點に於て二容器よりの可塑性金屬の流動方向間に約90°より大ならざる角度を有する如く配置せられ之により壓出室へ向ふ通路中の壓力が消失する時孰れの通路に於ても逆流を防止し得る様構成した金屬壓出装置に係る。

長型爐用の熱交換器 (昭和14年特許出願公告第5694號, 公告昭14-11-15, 獨逸國, メタルゲゼルシャフト, アクチエンゲゼルシャフト) 本發明は圖示せる如く熱交換器が爐の縦軸に對して横狀



に爐室内を延伸し且一方の爐壁より對向せる爐壁迄達する如く構成した長型爐特に迴轉管爐用の熱交換器の構造に係る。

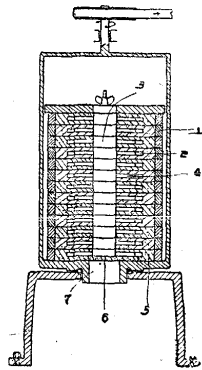
クロムニッケル型耐酸鋼の對硫酸耐蝕力強化法 (昭和14年特許出願公告第5695號, 公告昭14-11-15, 關東州, 滿洲化學工業株式會社) 本發明はアンチモン, 砒鉛或は之等の化合物若くは之と砒素セレン或は其化合物との一種乃至二種以上の適當量を添加溶解せる加熱硫酸中にクロムニッケル型耐酸鋼を浸漬處理し尙場合に依り之を50~800°Cに加熱處理し對硫酸耐蝕力を強化する方法である。

マグネシウム又は其合金の防蝕方法 (昭和14年特許出願公告第5696號, 公告昭14-11-15, 仙臺市, 金屬材料研究所長) 本發明は二酸化マンガンを磷酸水溶液に溶解した液に亞硫酸曹達或は亞セレン酸曹達等の還元劑を添加するか又は是等の還元劑の混合物を添加した水溶液中に處理物を入れて煮沸して其の表面に主としてマンガンと若干のセレン或は砒素を含有する化合物及磷酸鹽の混合皮膜を形成せしむるマグネシウム及其合金の防蝕方法に係る。

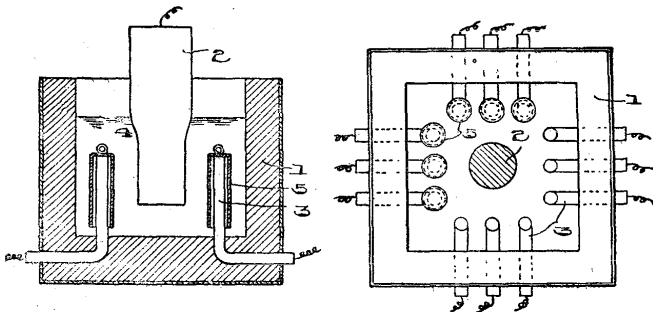
鉛粉製造法 (昭和14年特許出願公告第5697號, 公告昭14-11-15, 東京市, 相澤常八) 本發明は鉛に1%以下のマグネシウムを添加せるものを薄鋸と爲し加熱せる或は常溫の水中に浸漬して脆化せる後粉碎機により機械的に微粉となす方法でオイルレスベアリング, 金屬黒鉛刷子, 鉛蓄電池等に適する鉛粉を容易に得らるるものである。

ピストンリングの鑄造方法 (昭和14年特許出願公告第5748號, 公告昭14-11-18, 濱松市, 本田宗一郎) 本發明は圖示する如く

鑄砂中のリング型の中央に注湯孔を貫通し且つ之に連絡する熔鐵導孔を一定方向に放射弧狀線狀に設けた鑄型函を數個積み重ね其の最下部のもののみ中央貫通孔を下底迄貫通せしめずに之を廻轉し得る枠内に固定し中央孔の上部より熔鐵を注入し枠を一定方向に廻轉しつつ最下部の鑄型函の下底の砂を除去して中央注湯孔内の熔鐵を除去するピストンリングの鑄造方法に係るものである。

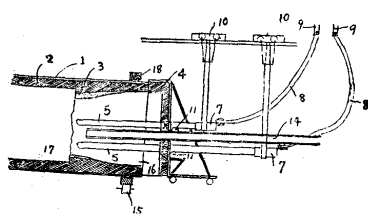


金屬マグネシウム電解裝置 (昭和14年特許出願公告第5766號, 公告昭14-11-18, 東京, 大倉鑛業株式會社) 本發明は圖示せる如く金屬マグネシウム熔融電解爐に於て電解爐固有の陰極の表面又は附近に任意形式の第二次陰極を裝備した電解裝置に



係るもので溫度調節を容易ならしめ且陰極面を活性となし電流能率を高からしめ得る特徴を有するものである。

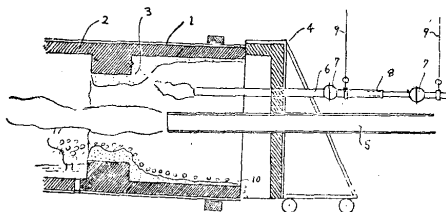
廻轉窯に於けるリング除去方法 (昭和14年特許出願公告第5769號, 公告14-11-18, 大阪, 大阪窯業株式會社) 本發明は圖示せる如く廻轉窯の端部より挿入せる適當筒數の電極を用ひ又は廻轉窯の裏付煉瓦に裝備せる電極と前記挿入電極とを用ひ



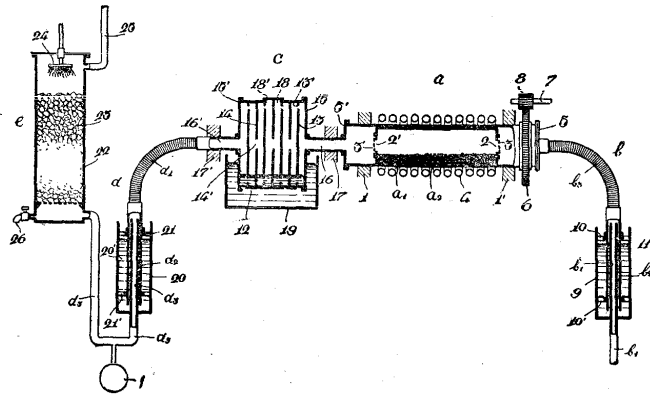
て電流を通し電弧又は電氣抵抗による發熱によりリングを形成する物質を熔融し除去する方法である。

廻轉管狀爐 (昭和14年特許出願公告第5836號, 公告昭14-11-20, 東京, 日本特殊鋼管株式會社) 本發明は砂鐵製煉に使用すべき同轉管狀爐の裏裝爐材を豫熱帯に於て珪酸質のものとなし還元帯に於てペロウスカイト質のものとなし熔融帯に於てコルハート質のものとなした廻轉管狀爐に係るもので特に砂鐵製煉に際し爐内各帯の化學的並に機械的作用に對して耐久力を強大ならしめたものである。

廻轉窯製鉄法に於けるリング除去方法 (昭和14年特許出願公告第5837號, 公告昭14-11-20, 大阪市, 大阪窯業セメント株式會社) 本發明は圖示する如く廻轉窯の下端より適當筒の補助バーナーを適當の筒所に挿入しリングを加熱して除去する方法である。

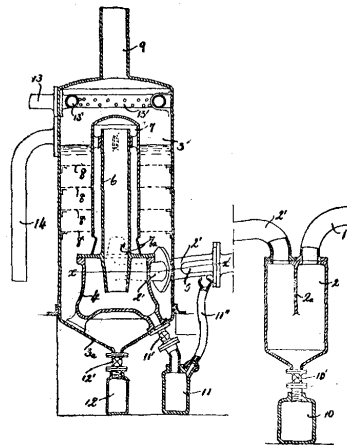


モリブデン精鍊裝置 (昭和14年特許出願公告第5838號, 公告昭14-11-20, 横濱市, 鈴木精次) 本發明は圖示する如く外熱式廻轉爐の一端に送氣管を連結し他端に圓筒の内部に多段隔壁を以て迂曲路を設けた廻轉式捕集器を接続し廻轉爐に輝水鉛鑛を裝入して



加熱及廻轉しつつ送氣管より空氣又は酸素を送入してモリブデン鑛に作用せしめ同時に捕集器内に液體を入れて廻轉しつつ之に爐内より排出するガスを導入し其の中のモリブデン即ち三酸化モリブデンを回収する様構成した精鍊裝置に係るものである。

水銀採取裝置 (昭和14年特許出願公告第5839號, 公告昭14-11-20, 西宮市, 熊田克郎) 本發明は圖示せる如く水銀を採取せる際發生せる少量の水銀を含んだガスを壓搾空氣の噴出力にて水冷塔内の旋流作用分離器に誘致し凝縮せしめ空氣と混じて霧狀と成れるものは更に該塔内にて冷却して泡沫狀となし冷却水を直ちに接觸し數段の網目を滑る間に水銀分を塔底に沈積させて採取する様構成した水銀採取裝置に係る。



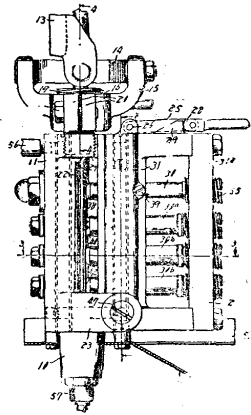
撥條用銅合金 (昭和14年特許出願公告第5840號, 公告昭14-11-20, 大阪市, 住友金屬工業株式會社) 本發明は Sn 1~10%, P 0.01~1%, Si 0.1~4%, Fe 0.1~5%, 殘部 Cu より成る撥條用銅合金に係るもので加工特に高温加工容易にして且つ耐酸耐蝕性に富み強靱なるを特徴を有するものである。

染色金屬粉製造法 (昭和14年特許出願公告第5841號, 公告昭14-11-20, 大阪市, 藤井毅太郎) 本發明は油脂性物ある金屬粉に該油脂性物の溶劑又は其の溶液或はアルカリ性の溶液を添加し前記油脂性物を一部溶解するかアルカリ或は染料との化合物又は糊料成分との混和物となす事により前記油脂性物を有せし金屬粉を染液中に沈降し得る様なし所要染料を以て染色し油脂性物ある着色金屬粉を製造する方法である。

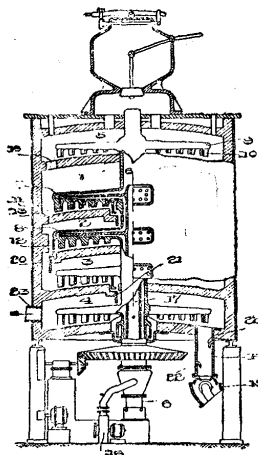
地下埋設物の防蝕法 (昭和14年特許出願公告第5842號, 公告昭14-11-20, 東京市, 逓信大臣) 本發明は鉛管, 鉛被電纜等の地下埋設物を電解液中に於て之を正極として電解を行ひ其の表面全體に互り鉛層を過酸化鉛層に化成せしめ更に其の上に瀝青防蝕塗裝其の他の防蝕塗裝を施す地下埋設物の防蝕法に係るものである。

電弧熔接機の電極給電裝置 (昭和14年特許出願公告第5879

號，公告昭 14-11-20，東京市，東京芝浦電氣株式會社）本發明は圖示する如く第一の杵體と該第一の杵體に樞着的に關聯せしめたる第二の杵體と前記兩杵體を豫定せる相對位置に保持する装置と一方の杵體に取附けたる電極指導部と他方杵體により支持せらるゝ刷子を有する接觸装置と前記兩杵體が前記豫定位置にある時前記刷子を前記電極と接觸状態に保持する装置と前記刷子に熔接電流を供給する装置とを具備する電弧熔接機の電極給電装置に係るものである。



ガス發生爐（昭和 14 年特許出願公告第 5909 號，公告昭 14-11-25，宇部市，宇部窒素工業株式會社）本發明は圖示する如く内部を水平の數段の爐棚に區劃して爐室となし各爐棚に於て數本の櫛齒形輸送腕を放射狀に有する廻轉中空直立軸を中心に樹立し直立圓筒爐の頂部中央に粉狀炭質物裝入口を具へ爐棚には一段置きに直立圓筒爐の内壁と中空直立軸の外周とに近接して輸送孔を設け櫛齒狀輸送腕は中空直立軸の廻轉により爐棚上の裝入炭質物を外方又は中心に向ひ交互的に移送し輸送孔より逐次各段を落下し酸素混有氣體及水蒸氣を中空直立軸を通じ上方より第二の爐棚の輸送腕の齒より送入して上方より第一の爐棚は裝入炭質物の豫熱を第二爐棚は主として裝入炭質物の酸化を第三爐棚



以下にては發生ガスと炭質物とを接觸して還元を行はしめ最下段の爐棚に灰滓取出口とガス導出口とを別個に備へたガス發生爐に係る。

不純金屬ニツケル及粗製酸化ニツケルより純度高きニツケルを製造する方法（昭和 14 年特許出願公告第 5911 號，公告昭 14-11-25，東京市，日本ニツケル株式會社）本發明は $Mn, Cr, Fe, Mn, Cr, Su, Mg, Al$ 等の酸化物を含有する粗製酸化ニツケルと共に熔融し不純金屬ニツケル中の不純元素を粗製酸化ニツケル中の酸素により酸化して精製ニツケルを得る方法である。

洋銀代用合金（昭和 14 年特許出願公告第 5912 號，公告昭 14-11-25，仙臺市，金屬材料研究所長）本發明は $Zn 30-40\%, Ni 2-10\%, Mn 2-8\%, Al 0.01-1\%, Cr 0.01-1\%$ ，残り銅よりなる洋銀代用合金に係るもので普通の洋銀の如き劣化を起さず電氣的性質良好にして高温加工容易で對蝕性，機械的性質等優秀なる性質を有するものである。

る洋銀代用合金に係るもので普通の洋銀の如き劣化を起さず電氣的性質良好にして高温加工容易で對蝕性，機械的性質等優秀なる性質を有するものである。

銀合金（昭和 14 年特許出願公告第 5913 號，公告昭 14-11 25，東京市，航空研究所長）本發明は特許第 104732 號の權利を使用するもので $Al 5-10\%$ の外に更に $Mg 0.05-5\%$ を加へた銀合金に係るもので熱處理により抗張力及硬度極めて高く且靱性を有する特徴を有するものである。

市販の純銅及銅と金銀との合金を硬する方法（昭和 14 年特許出願公告第 5914 號，公告昭 14-11-25，米國，クロード，ホルテン，コールマン）本發明は銅又は合金の溫度を少くとも約水の凍結點に低下せしめて次で華氏 240 度程度の溫度の流動體溶液に浸漬して其の溫度を上昇せしめ其の金屬の溫度の上昇を金屬の酸化を防ぐために大氣と接觸せしめずして行ひ各溫度上昇工程の次に金屬を清淨用溫溶液に浸漬する清淨工程を行ひこれ等三工程を反覆行ひたる後最後に溫度低下工程の前に金屬乾燥する硬化方法に係るものである。

特許抜萃

番 號	名 稱	特許權者	公 告 抜 萃
132038	銅合金電氣導體	古河電氣工業株式會社	25-7
132048	鑄型製造機	白井竹三郎	—
132052	金屬鑄造方法	メタルカーバイドコーポレーション	25-7
132088	金銀鍍處理法	日本高周波重工業株式會社	25-7
132093	陽極酸化皮膜を有するアルミニウム又は其合金の腐蝕法	光商事株式會社	25-7
132105	採金用マツト製造法	大類榮治	25-4
132157	粗ロヂウムより純ロヂウムを製造する方法	株式會社徳力本店	25-7
132169	浮游選礦法	高砂化學工業株式會社	—
132189	金屬滲透層の形成法	泉 量	— 25-7
132192	工具	東京鋼材株式會社	25-7
132201	硬度高き冷硬ロール	株式會社川崎造船所	25-7
132203	可逆蓄熱爐	ウイリアムジョセフ プルーク	—
132206	眞空鑄造裝置	柳下好治	25-5
132209	陰極飛唾法による鍍金法	ベルンハルトベルグハウス	25-6
132236	シリンダーライナー鑄造用鑄型の改良	泉 藤 吉	25-7
132239	硫化礦物焙燒裝置	滿洲化學工業株式會社	25-7
132244	アルミニウム製品に模様を顯出せしむる方法	理研アルマイト工業株式會社	—
132246	黄金色合金	英木康之 外一名	25-8
132260	貴金屬合金	ジョンソン，マッセイ，エンド，コムパニーリミテッド	—
132263	熔鑄爐	小川新太郎	25-8